

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和05年06月21日(水)

事務事業		農業地域研修施設等管理運営事業			担当課	農業振興課	担当係	整備係	管理番号	36431
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務			
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市農業総合センター条例・深谷市農業者トレーニングセンター条例・深谷市花園就業改善センター条例・深谷市農村婦人の家条例・深谷市川本農民センター条例			
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、①農業者等の健康維持を目的とした運動施設（川本・花園農業者トレーニングセンター）と②農業経営に必要な知識の取得を目的とした研修施設（川本農業総合地域施設・川本農村婦人の家・川本農民センター）③農工業の調和ある農村建設を目的とした施設（花園就業改善センター）④省エネルギーモデル温室の維持管理事業である。								
目的 ※何のために		運動施設は、農業者等の健康維持、増進、管理を目的とし、研修施設は、農業経営に必要な知識の取得及び農業者相互の経済的向上や、農業と工業の調和ある農村建設を目的としている。								
対象 ※誰・何を対象に		市民等								
手段 ※どのように		運動及び研修施設の提供								
成果 ※何を求めるか		健康維持や、地域交流を促進させる。								
執行体制		■ 職員 ■ 一部委託 □ 全部委託 ■ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目	細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	2	農業総務費	農業地域研修施設等管理運営事業	24,812,074
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	2	農業総務費	農業地域研修施設等管理運営事業	0
本事業の 主な業務		・ 花園トレーニングセンター、花園就業改善センターの維持管理							・ 川本農業地域施設、川本農村婦人の家の維持管理	
		・ 川本農民センター、川本トレーニングセンターの維持管理							・ 省エネルギーモデル温室の維持管理	
		・ 所管施設の施設利用に関する業務							・	
		・ 所管施設の管理に関する業務							・	
		・ 所管施設の業務委託に関する業務							・	
		・ 所管施設の修繕業務							・	

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		施設の運営管理維持管理 修繕	施設の運営管理維持管理 修繕	施設の運営管理維持管理 修繕			
事業費	予算（現額）	62,035,000	26,226,000	26,110,000	27,969,000		
	決算額	60,067,997	24,812,074	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	5,828,988	5,947,545	6,149,000	5,769,000	
		一般財源	54,239,009	18,864,529	19,961,000	22,200,000	
人件費	従事職員数（人）	0.92	1.12	1.35	1.35		
	人件費相当試算※	7,140,962	8,813,904	11,065,122	11,065,122		
総事業費試算		67,208,959	33,625,978	37,175,122	39,034,122		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	運動及び研修施設の修繕件数	目標値	件	0.00						
		実績値		4.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事前予測が不可能なため目標設定しない。/支出命令書等による						
	実績値の算出式									
活動指標 2	省エネルギーモデル温室修繕 要望件数の達成率	目標値	%	100.00						
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			予算の範囲内での要望に応じた修繕達成率を設定している。 / 要望に対応した修繕の把握						
	実績値の算出式									
成果指標 1	施設稼働率	目標値	%	0.00						
		実績値		22.60						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事前予測が不可能なため目標設定しない。						
	実績値の算出式									
成果指標 2	温室使用料	目標値	万円	420.00						
		実績値		420.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			月額賃借料×12ヵ月 / 契約額						
	実績値の算出式									
成果指標 3	管理運営経費に占める温室使 用料の割合	目標値	%	100.00						
		実績値		100.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			管理運営費÷温室使用料 / 決算額						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	運動及び研修施設の修繕件数は4件となり、発生する不具合に対応できた。また、省エネルギーモデル温室については、修繕要望についてすべて対応できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	稼働率は概ね例年通りとなった。また、省エネルギーモデル温室使用料については、滞りなく徴収できた。
			評価者 整備係長 吉岡 俊和

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	所要の修繕対応等により、安定的に稼働しており、また、省エネ温室についても、円滑に使用料を徴収できている。
			評価者 整備係長 吉岡 俊和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農業地域研修施設等管理運営事業	担当課	農業振興課	担当係	整備係	管理番号	36431
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>一定の利用があることから、稼働している施設については、必要な修繕を行うなど適切な維持管理に努めていく。 今後、公共施設適正配置計画に沿った運営を行っていく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	産業振興部次長兼農業振興課長 前野 武一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

